

### 四国お遍路の予定

コロナ禍で四年の歳月をかけた四国遍路が今年三月に成満をいたしました。

次回は来年四月中旬に一歩徳島に戻って実施を予定しています。

以前よりはツアーの団体での参拝が減っているため、時期を四月中旬と十一月月上旬に戻して実施しようと思えます。

来年の令和六年春に徳島を、秋に高知を、令和七年春に愛媛を、秋に香川のお寺を巡ります。

また、これとは別に四国霊場番外二十ヶ寺の巡拝も今秋十一月に検討しております。

参拝人数が十五名に達したら計画をしたいと思えますので、ご希望の方はお盆明け頃以降にお問い合わせください。

### 真言宗の基礎知識(その一)

#### (弘法大師のご入定の後)

お大師さまは六十歳前から次第に高野山で過ごされる時間が増えてまいります。そして今後の高野山の管理を、ご自分の甥である真然(しんねん・しんぜん)様に託されました。

お大師さまが西暦七七四年のご生誕に対して、真然大徳のお生まれは八〇三年前後となっております。

お大師さま御入定ののちも多くのお弟子たちが京都や各地で活躍され、真言密教の教えは弘まっております。

高野山はお大師さまの時代は修行(勉強と瞑想)の場所でしたが、次第に信仰の山へと変化してまいります。

真然大徳は弘法大師の身近で寝食をとるに出来た弟子としての自負がありました。お大師さまのお心を継いで、高野山の堂塔の建立に力を注ぎ、今日の礎(いしづえ)を築かれたご功績は非常に大きいと考えます。

西暦八八四年には京都東寺の長者に補任され、真言宗全体を統括されるようになりますが、今日まで続く高野山の伽藍の姿の原型や、金剛峯寺の座主職を置かれたのは真然さまの進められたご功績であります。

そして西暦八九一年 九月十一日 八十八才で示寂されたと言われております。

三十年ほど前までは、高野山の金剛峯寺本坊から渡り廊下があつて護摩堂と真然堂というお堂がありました。真然堂の御本尊の前には真然大徳のお位牌がお祀りされていて、本山に居住する僧侶は毎月十一日にはこのお堂の中でお勤めをするのが恒例でした。しかし、昭和六十三年発掘調査をしたところ、お堂の基壇から真然大徳のお舍利の入った壺が発掘されました。そこで現在はお墓として整備されています。

### 真明寺住職の変更について

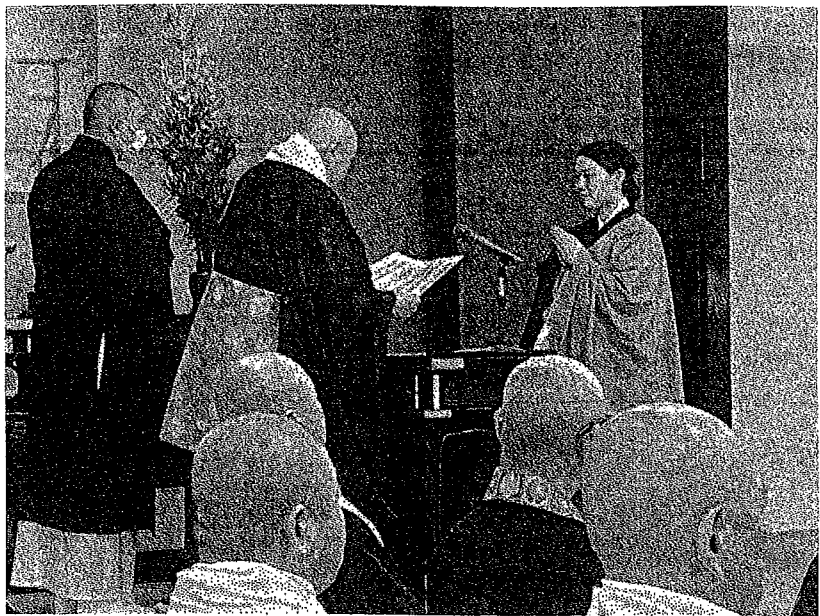
前号で紹介しておりました真明寺の住職交代の最後の手順として、絢子(僧名の実名 清澄)は去る六月十三日高野山に上がり、総本山金剛峯寺にて座主・管長様より住職辞令を拝受いたしました。これは年に四回に分けて、住職になった人に、住職が知っておく印明を座主猊下より授けていただき法流(おしえのつながり)を確かにするための儀式でもあります。今回は全国から約二十名の幅広い年齢層の新任職が集まり、朝六時半に朝食を済ませて本山金剛峯寺に入り、午後三時に奥の院の法要を行うまで儀式が続きます。初めて本山にて新任職たちがお昼の食事をいただく機会でもあります。

いままでの高野山へのおまいりは、修業の為か、観光・団参の為かしかなかったのですが、初めて儀式に参加する登壇で、まったく別の高野山の一面が見られたようです。本人の感想は「とても長い時間のお勤めが続き、大変でした」とのことです。

昨年十二月九日に母清純が住職在任五十年表彰にあわせて、住職退任する奉告に高野山へ上つて始まった一連の手順も、半年かけてようやく終わることが出来ました。

## 上之坊だより

令和5年6月26日  
第98号  
福山市大門町大門325  
電話 (084) 941-1031  
fax (084) 941-1168



座主猊下より親しく真明寺住職辞令を拝受

こう ぼう だい し せい ご しょう  
弘 法 大 師 聖 語 抄

しょうご き あお  
昇悟の機 仰がずんばあるべからず

「悟(さと)りを得る機会  
は、悟りを求める心がなければ決してありえない」と説かれています。

仏教の「悟り」とは、迷いを無くし、物事の本質・真理を見極める事を言います。

昔の人々の暮しは厳しく、ひとたび飢饉や疫病が流行すれば命は簡単に失われていました。対処する手立てもなく心の拠り所や信仰がなければ生きていけないような時代でありました。

今は一週間先の天候でさえも分かる時代ですが、それでも明日のわが命があるかどうかは分からないままです。

将来何か事が起ころうとも慌てず受け止める事が出来るだけの心構えを持ちたいと思えます。表面だけではなく本質を見極めるようになりたいと考えます。

周囲をよく見て、しっかりと考え、信念を持てば、生き方も変わり、迷いに苦しむことも減るように思えます。

### お施餓鬼法要のご案内

おせがき（ロウソク）法要を七月八日（土）夕方六時三十分より行います。この法要は灯明・食物やお水をお供えして、多くの諸精霊の成仏を祈る法要で別名を「施食会」とも言われています。

地獄や餓鬼道に墜ち、飢えや渇きの苦しみで成仏できない精霊に水や食物を供えて成仏できるように願ひ、また最近亡くなられて間もない仏様には一層の菩提の安らかなる事を祈る法要です。

お盆には各地でいろいろな供養の行事が催されますが、このおせがき法要がその一番最初の姿であり、亡くなった方への供養として、大変長い歴史を持つ由緒ある儀式であります。

今も多くのお寺で続けられているおせがき供養ですが、上之坊では亡くなられて三年くらいまでの仏様を中心に、有縁無縁（うえんむえん）の三界万霊への供養をいたします。

午後六時半に夕勤行を始めて夕暮れを待ち、読経をして、経木塔婆（きょうぎとうば）に水をかけて回向をし、最後にロウソクに点灯をまいります。

新仏（しんぼとけ）様などで特別に成仏をお祈りいただく場合は、これに二尺半の施餓鬼塔婆をお墓にたてていただくよう用意いたします。できましたら前日までに電話でお知らせください。

このときの志納金は五千元です。（記念品とお菓子付）  
また一般参拝の方は経木塔婆とロウソクをお渡ししての供養となります。一家族二千元をお願いいたします。（お菓子付）

この一般受付は当日八日夕方六時十五分より開始いたします。この法要終了後、今年のお盆勤めの日時のご希望を受けます。お盆に近い八月中旬にご希望の方はお残りいただき、ご相談をしたいと思います。

### 今年のお盆づとめ（棚経）予定について

今年もお盆の時期が近づいてまいりました。昨年はコロナ禍の影響もあり、終盤では体調を壊し、お参りできないお宅が出てしまいました。今年も途中で葬式が急遽入っても対応できる程度の余裕を持ってお参りをしたいと存じます。お参りする時間は朝八時から十一時半までと十三時半から二十時までです。

- 八月 七日 曙・新渥・川口・野上・手城・引野
- 八月 八日 引野・東深津・蔵王・春日・能島
- 八月 九日 福山中央・西部・尾道市・三原市
- 八月 十日 幕山台・大谷台・伊勢ヶ丘等住宅地
- 八月 十一日 福山中央・西深津・笠岡市・倉敷市
- 八月 十二日 東陽台・千田・神辺・芦田・加茂
- 八月 十三日 午前初盆 午後福山中央 夜初盆
- 八月 十四日 午前初盆 午後・夜福山東部住宅地
- 八月 十五日 午前初盆 午後上之坊にて回向希望者
- 八月 十六日 以降 日時の指定希望者

総代会において、将来の上之坊住職の交代を考えて、記念になる境内の整備のため建設委員会を設けることになりました。寺前の空き地の利用方法などを検討しており、現在まで少しずつ協議を進めております。

### 建設委員会を立ち上げ

- 七月十三〜十五日 新暦盆御希望者
- 七月十六〜三十一日 日時指定希望者
- 八月 一日 東谷・日之出ヶ丘
- 八月 二日 中谷・駅前・西谷
- 八月 三日 横道・笠岡市吉浜
- 八月 四日 元幕山・元大谷
- 八月 五日 石樋・引野古地
- 八月 六日 大門町（JRより南）

去る四月十六日（日）朝九時半より二時間ほど奥の院およびユギ塔周辺の清掃活動を行いました。お堂などが山中にありますが、奉仕活動でずいぶんきれいになりました。（参加者は下記のとおり）  
そして終了後に今後の整備計画の話し合いもし、お寺の前の空地の利用などの意見交換をしました。



2023/04/16